

予算決算常任委員会報告

令和4年9月20日

ただ今から、予算決算常任委員会の委員長報告を行います。

令和4年9月5日及び6日の午前10時から、美浜町議会全員協議会室において委員13名及び議長の出席のもと本委員会を開催し、8月31日に本委員会に付託されました議案19件の審査を行いました。

当日は説明のため、町長、副町長、教育長、各課長、局長、所長及び会計管理者の出席を求めました。

また、職務執行のため議会事務局長を出席させました。

以下、本委員会で審査された主な点について申し上げます。

議案第54号 令和3年度美浜町一般会計歳入歳出決算の認定について

総務課長より、令和3年度美浜町歳入歳出決算書、及び令和3年度一般会計決算の概要（町の財政状況）の説明を受けた後、質疑に入りました。

「令和3年度一般会計決算の概要について」【町の財政状況】[歳入歳出決算書]

質疑：町税の中の固定資産税が大きく増えており、関西電力の設備投資が増加したことによるものと思うが、町税に占める割合はどの程度か。

回答：令和3年度の町税の総額に占める原子力発電所関連の割合は69.53%である。令和2年度は53.07%だったので大幅に増加した。

質疑：町民税が1,500万円ほど下がっているが、この要因はなにか。

回答：人口減少及び高齢化による現役世代の減少だと考えている。

質疑：法人税が減少しているが、この要因はなにか。

回答：令和3年度が減少したと言うよりも、例年に比べて令和2年度の法人税、特に建設業関係が好調であったためと考えられる。

「令和3年度美浜町一般会計歳入歳出決算事項別明細書」[主要施策説明書]

(総務費)

質疑：美浜ふるさと納税推進事業で1億8,000万円の寄付額があるが、今後この寄付額を増やす取り組みをどう考えているのか。

回答：敦賀市のように、中間事業者の取り込みを進め、中間事業者と相談しながら返礼品の開発と充実を進めていきたい。

質疑：集落づくりサポート事業344万円であるが、この取り組みの状況とこれまでに得られた成果、及び今後の進め方をお聞きしたい。

回答：法人化を図った集落も出てきている。収益事業等にも取り組み、先を見据えた集落の活性化を進めており、これらが先進事例となって、各集落での取り組みが進むよう支援していきたい。

質疑：若者ファンづくり事業813万円であるが、実際にeスポーツなどの大会を通じて成果や課題は見受けられるのか。

回答：若者実行委員が初めてこのイベントに携わり、若者のにぎわいを創出していく上でのいろんなノウハウが取得できたことが大きい。今後ともこれら

のノウハウや反省点を踏まえ、引き続き活動していく計画である。

質疑：エネルギー環境教育体験館運営事業4,631万円であるが、開館して5年経過するが、毎年ほぼ安定的に5,000万円強の維持・運営費用を要しており、当初6億円の基金も約半分費やした。このままではこの先5年後には底をつくと思うがどう考えているのか。

回答：令和5年までの運営計画は固まっているが、その先、もんじゅの跡地にできる試験研究炉との連携を含めて、「きいぱすのリニューアルと高校生・大学生までを対象としたバージョンアップ」を行うべく、文科省に要請活動を行ったところである。

(民生費)

質疑：福祉支援センターあいばる管理運営事業1,068万円であるが、規模の割に利用者が多いため、予約が取りづらいとか、利用する人のニーズに対応できていないとの声があるがどう考えているか。

回答：資格を持った専門職の確保が難しく、特に作業療法士や言語聴覚士は委託で対応している。今後要員を確保し、利用日を増やす等、ニーズに対応できる様に検討していきたい。

質疑：病児デイケア促進事業は敦賀市との共同運営で、利用者は敦賀市が291人・美浜町が2人にも拘らず、258万円を負担している。この事業の町民の認知度が広がっていないか、あるいは使い勝手が悪いのではないか。

回答：今年度9月からこの制度が一部変更になり、第2子以降は無料になる。改めて町ホームページや保育園等にパンフレットを置き周知する。

質疑：後期高齢者医療広域連合負担金に関連して、令和4年度より人間ドック費用補助がなくなり、該当する住民から苦情が出ている。どう考えるのか。

回答：75歳以上の高齢者の人間ドック補助は、県の広域連合の事業であったが、町の健(検)診において代替できることや、「75歳以上の高齢者が毎年人間ドックを受ける必要があるのか」という医療関係者等の間でのエビデンスに基づく議論もあり、廃止になった。当町においても関係者が協議し受け入れることにした。

但し県内においては、坂井市、大野市、勝山市、越前町は市町単独で補助しており、若狭町も予定しているので、今年度に高齢者の意見を踏まえて検討し、来年度の美浜町の対応を決めていきたい。

(衛生費)

質疑：レイクヒルズ美方病院の入院患者が、美浜町、若狭町合わせて3,000人減っているが、理由は何か。

回答：コロナの影響もあり入院患者は減っている。収支は黒字になってはいるが、今後も引き続き、ほかの病院から入院患者を回してもらおう等、患者数確保に努めていきたい。

質疑：レイクヒルズ美方病院への補助金は今後も出し続けるのか。

回答：負担金については、企業債の元金や利子、建設改良費など町の負担分であり、今後も必要となる。

質疑：楽膳の里運動推進事業517万円であるが、実際に成果は出ているのか。

回答：すぐに効果が出るものではないが、長い目で見て減塩、減量、野菜摂取と運動を強化し、「げんげん歩楽寿」の活動を地道に続けていきたい。ちなみに令和3年度の国民健康保険の医療費は前年度と比較すると下がっている。

質疑：美浜・三方環境衛生組合負担金3億3,287万円であるが、敦賀市との広域化事業が開始されたが、この費用は今後どの程度減少するのか。

回答：令和4年度から一般廃棄物の処理を敦賀市に委託するので、5,000～6,000万円程度減額になる予定である。

質疑：敦賀市との廃棄物処理広域化事業6,654万円であるが、この金額は今後どのように変化していくのか。

回答：新清掃センター、新最終処分場等の費用が発生するが、これら広域化の負担金として令和4年度当初予算において約4億円を計上した。当面この程度の負担金は発生すると考える。

質疑：敦賀市との連携・広域化による規模拡大によって、どの程度の処理負担金の減額効果を見込んでいるのか。

回答：一般論として、規模拡大によって費用は低減すると思うが、大きく寄与するのはゴミの分別による減量化だと考える。

（労働費）

質疑はありませんでした。

（農林水産業費）

質疑：多面的機能支払交付金事業5,418万円であるが、どのような内容か。

回答：もともと「農地・水」で進められた事業で、草刈等の農業者の負担の大きい作業を、地域等で担っていただく場合に町から補助金を出している。

質疑：農業人材育成拠点整備（4億1,315万円）や新規就農支援事業（949万円）など、いろいろな施設に補助金を出しているが、運営状況はどうなっているのか。

回答：現在も継続して実施されており、しっかり運営されていると考えている。

意見：過去に、大きな補助金を出した事業が頓挫したこともある。補助金を投入した事業がうまくいっているかどうかは、議会としても非常に気がかりであり、状況確認をしっかり継続的に行って頂きたい。

質疑：ロシアのウクライナ侵攻で外国産材木が流通しにくくなっているが、美浜町の林業の今後の長期的な展望をどう考えているのか。

回答：県産材を活用する考え方は、美浜町単独でなく広域で連携して取り組む必

要があり、今後とも広域での協議を進めていきたい。

質疑：松くい虫被害総合対策事業1, 253万円において、興道寺地係等で空中散布が行われているが、地区の要望に基づいて実施しているのか。

回答：地区の要望ではなく、森林組合と調査・協議して防除が必要な場所で行っている。空中防除については令和3年度で一旦打ち切り、令和4年度に調査を行って今後の方針を見直しする考えである。

質疑：漁礁機能回復事業100万円であるが、ウニ礁を1, 200基投入しているがその対策で不漁が改善できるのか。

回答：町が100万円程度の補助を出し組合も負担され、地元が自ら工夫して考案された方法と数量に基づいて実施している。

意見：定例的に100万円を補助し、その規模感で漁礁を作るというのではなく、本当に改善に結びつく対策を実施するべきではないかと思う。

(商工費)

質疑：はあとふる体験推進事業442万円であるが、他と比べて金額が小さすぎると思う。実際に事業を行なっている人の声を聞いて、もう少し大きな補助をすべきではないか。

回答：教育旅行の受け入れを中止する市町がある中で美浜町は受け入れを行い、令和3年は前年比2倍以上の参加人数となった。スタッフ数が追いつかないため、令和4年度は補助金を増額している。

質疑：コロナ禍により観光業の経営環境は厳しいと思うが、若狭美浜観光PR事業(648万円)や商工団体育成事業補助金(630万円)、そして商工団体が行う支援等も考え併せて、どの様な状況になっているのか。

回答：お泊りキャンペーンや民宿活性化事業なども行い、観光事業者を支援している。観光は美浜の主要な産業の一つであり、新幹線の敦賀開業を見据えてしっかり取り組んできた。現在、民宿のリニューアルも十数軒を超え、大きな投資を計画される宿泊事業者もあり機運は上昇している。今後ともいろんな補助事業を通じて、事業者とともに取り組んでいきたい。

質疑：はあとふる体験は、当初は民泊が主体であったが現在は皆無である。今後は旅館や民宿主体で進める方針なのか。

回答：民泊は、特に子供達には有意義な体験だと思うが、引き受け手がいなくなったのが現実である。民泊の引き受け手があれば、復活できると良いと考えている。

(土木費)

質疑：特定空き家対策について、何か進んだ事柄はあるのか。

回答：司法書士会と協定を結び、空き家の所有者を最後まで追跡できるようになった。特定空き家が34軒、準特定空き家が18軒、実態はもっと多いと思うが、今後もこの事業は鋭意進めていく必要がある。場合によっては今

後、行政代執行も視野に検討する必要があると考えている。

質疑：空き家対策は大きな業務であり、担当課を作って実施すべきではないか。

回答：美浜町では高齢者世帯が1,000を超えており、空き家の問題は喫緊の課題ではあるが、取り組む人的な課題やそれぞれ複雑な事情等があり、その解決は容易ではない。町と集落とふるサポ NPO が思いを一つにする形で、解決への取り組みを進めさせて欲しい。

質疑：県営砂防事業100万円と県単急傾斜地崩壊対策事業3,800万円であるが、同じ日向地区の東と西の同じような傾斜地でなぜこのように金額が違うのか。

回答：県営砂防事業は総額2,000万円の県の事業で、町の負担は5%の100万円であり、県単急傾斜地崩壊対策事業は、保全対象の家の数が少ないため町の直営で県の補助が50%であり、負担率等の違いである。

(消防費)

質疑はありませんでした。

(教育費)

質疑：学校プール管理事業379万円に関連しての質問であるが、今年度は故障箇所があるため一般開放を中止したが、しっかり設備管理をしているのか。

回答：故障箇所を応急処置して学校では使用していたが、十分な安全確保ができないこととコロナ禍を考慮して一般開放は中止した。

質疑：子供たちはプールを楽しみにしており、来年は開放して欲しいがどうか。

回答：水難救助員の確保が難しいという課題はあるが、業務委託できる場所を探す等して一般開放できるように取り組んでいきたい。

質疑：スポーツまちづくり推進事業902万円であるが、高校総体に合わせて電光掲示板を設置したものか。

回答：高校総体に合わせて設置したが、現状は大会の案内・結果の表示等に使用して、ポートの町美浜のPRに活用している。

意見：運動公園の2階に運動ジムがあるが、あまり多くの人が活用していない。敦賀等には新型の筋トレマシンを備えたフィットネスクラブがあるので、ここのマシンを更新する際には、筋トレではなくストレッチマシンを導入すると、高校生等が喜んで活用し活気が戻ると思うので検討願いたい。

回答：使用者の要望等も聞きながら、導入の可否等について検討していきたい。

意見：総合運動公園の町民広場のナイター設備が以前より故障しているが、昨年度中に修理できなかったのか。

回答：今年度設計業務を行い、次年度以降に修理を行いたい。

要望：冬季のシーズンオフ中に修理を終える様に進めて欲しい。

質疑：生涯学習センター管理事業4,462万円に関連するが、会議室の会議机の脚の多くが故障してガタガタになっており、出し入れも大変で床も傷つ

ける。修理するか新品に入れ替えを検討願いたい。
回答：現状を調査し、来年度の予算で対応したい。

(公債費)
質疑はありませんでした。

(定額資金運用状況)
質疑：佐竹良三郎小学育英基金だが月4万円では額が少ない。他の育英資金との併用はできるのか。
回答：併用は可能である。その旨の周知と、出来るだけ早く募集し活用に努める。

(歳入)
質疑はありませんでした。

議案第55号 令和3年度美浜町診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について

健康福祉課長より説明を受けた後、質疑に入りました。
質疑：診療収入が増えており、その要因はコロナワクチンの接種だと思うが、その他の患者が増えてはいないか。
回答：診療収入増の主たる要因は、コロナワクチン接種料の増加である。患者数はコロナによる受診控え等が続いている。

議案第56号 令和3年度美浜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

住民環境課長より説明を受けた後、質疑に入りました。
質疑：歳入が年々下がっているが、加入者の減少と高齢化に伴う後期高齢者医療事業への移行が原因なのか。
回答：そのとおりである。令和4年度から本格的に移行が始まっている。なお美浜町の65才から74才までの前期高齢者の比率は50%を超えており、県内1位になっている。

議案第57号 令和3年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について

住民環境課長より説明を受けた後、質疑に入りました。
質疑：保険料収納状況について、年金からの天引きであるにも拘わらず未納があるのはなぜか。
回答：加入者が死亡されると、調定額は減額するが国からの通知が届いていなければ現金が残っており、その場合は未納のマイナス表記になる。

議案第58号 令和3年度美浜町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定 について

健康福祉課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑：令和2年度は6,000円であった介護保険料が、令和3年度には5,800円に下がっているが理由は何か。

回答：3年ごとの介護保険事業計画において、サービス費の見込額等により、介護保険料を算出しており、令和3年度から3年間は5,800円となっている。ちなみに敦賀市は6,300円、若狭町は6,600円、県平均は6,110円であり、県下で3番目に低い額である。

議案第59号 令和3年度美浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定 について

上下水道課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑：上水道統合整備事業であるが、北田と菅浜の後の計画はどうなっているか。

回答：上水道の延伸計画は菅浜までである。丹生と竹波については、現在の簡易水道の配水管の修理工事を順次進めていく計画である。

質疑：収益的収支で500万円の赤字が出ている。3,400万円の収益で500万円の赤字は非常に大きい。水道料金の値上げも考えているのか。

回答：水道料の値上げ改正についても、今後検討していく必要はあると考える。

議案第60号 令和3年度美浜町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の 認定について

上下水道課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑：地域創生汚水処理施設整備交付金事業900万円であるが、令和3年度に設計業務をしたということは今年度に着工するのか。

回答：今年度に着工する計画である。

議案第61号 令和3年度美浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認 定について

上下水道課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑：美浜町の公共下水道において、宅内排水工事を終えている率はどの程度か。

回答：公共下水道の水洗化率は「使用する人数／区域の人口」という定義になるが、現在美浜町の公共下水道区域全体で81.76%である。

議案第62号 令和3年度美浜町産業団地事業特別会計歳入歳出決算の認定 について

産業振興課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第63号 令和3年度美浜町住宅団地事業特別会計歳入歳出決算の認定について

土木建築課長より説明を受けた後、質疑に入りました。
質疑はありませんでした。

議案第64号 令和3年度美浜町道路用地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について

土木建築課長より説明を受けた後、質疑に入りました。
質疑はありませんでした。

議案第65号 令和3年度美浜町上水道事業会計決算の認定について

上下水道課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑：上水道建設改良事業4，496万円であるが、配水管布設替工事にφ300（農業用）L=203mとあるが、パイプライン工事をやったのか。

回答：木野地区の県営かんがい排水路工事の支障となる、配水路、農業用配水管の布設替工事を、県等から財源を得て実施した。

質疑：令和3年度は573万円の経常損失であるが、どう補填していくのか。

回答：前年度繰越利益剰余金の4億円余りの中から対処している。

議案第66号 令和4年度美浜町一般会計補正予算（第3号）

総務課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑：議会費の議場音響システム改修工事費4，900万円であるが、現行の音響システムの不具合解消はもとより、議会の放映等を含めてどの様な改修を予定しているのか。

回答：基本は、マイクが音を拾わないためにきちんと放送できない不具合の改修になるが、それ以外についても議員を含め関係者とよく相談して進めたい。

質疑：住民基本台帳費の一般経費2，650万円は、マイナンバーカードのキャンペーン事業費だと思う。マイナンバーカードは国の事業であるにも拘わらず、その利用促進に町が一般財源を2，248万3千円投じているが、町として効果的なものが得られるのか。

回答：町では今年度、マイナンバーカードがあれば、コンビニ等のマルチコピー機があるところで、住民票や戸籍・税務関係の証明書が取得できる仕組みの導入を進める。

また国（デジタル庁）においては、マイナンバーカードをスマホに搭載して保険証と一体化し、自身の検診情報や薬剤の投与情報の閲覧や、電子処方箋として使用するシステムを進める予定である。またカードを自分の口座とひも付けすれば、給付金や補助金の口座への電子振り込み等が可能になる。

この様に、町民の利便向上や行政の効率化に大きく結びつくので、町においてもしっかりと推進していきたい。

質疑：セキュリティと利便性がしっかりしているなら、お金を投じなくても利用促進が進むと思う。特に高齢者はIDナンバーやパスワード等を忘れがちであり、利便性に反する側面も予想されるが何か把握しているのか。

回答：高齢であっても、元気でしっかりデジタル対応されている方もいる。どうしても使用できない方が一定数はあると思うが、逆にデジタルにチャレンジ・活用して介護予防や生活の質を上げて頂きたい。

国は、マイナンバーカードのセキュリティは万全として、自信をもって全国民に活用を勧めている。

質疑：保育園いきいきコネクト事業125万円であるが、環境整備設計業務委託料になっているが、何を委託するのか。

回答：保育士の業務が多忙であり、業務の効率化による負担軽減を目的にICT化を進めたい。現在、保育園には無線環境が未整備であり、ICT化を進めるにはアクセスポイント数などの環境整備が必要となるため環境整備の設計業務を委託したい。

質疑：保育士の負担軽減のために何をやるかの議論が先であり、それが明確にならなければICT環境の整備内容も決まらない。進め方の順序がおかしいのではないか。

回答：今年度、町と各保育園でチームを作り、保育サービスの提供方法や保育の職場環境改善等のためにはどうすれば良いのか等の議論を進めており、令和5年度に具体的なシステムを構築したい。

質疑：園芸育成支援事業8,972万円であるが、大半が就農定着用ハウス整備の補助で、キュウリ用ハウス5棟をJA福井県、イチジク用ハウス4棟をみはまアグリチームが運営するが、事業者負担はどれだけか。

回答：事業者負担は6分の1（約17%）、両事業を併せた負担額は1,965万円になる。

質疑：あまりにも補助率が高すぎて事業者に甘えが生じ、事業運営の責任感が薄れる恐れはないのか。

回答：JA福井県とみはまアグリチームの両事業者は、これらのハウスを就農者にリースで貸し付ける義務があり、それが国の補助（45%）獲得の条件になる。そして就農者がリース代金を払い終えた段階で、これらのハウスは就農者のものになるという構造である。

質疑：新幹線開業に向けた若狭牛出荷拡大促進事業346万円であるが、若狭牛の子牛12頭を購入する費用の補助とのことだが、それで新幹線開業に向けた若狭牛の出荷が促進できるとは思えない。美浜町のブランドが構築できるところまで、畜産業に対する助成を強化する気持ちはないのか。

回答：現状それだけの基盤はないが、県が新幹線の開業に向けて動くという中で、それに沿って頑張る畜産事業者を応援するという事業になる。

要望：新幹線の開業に向けた若狭牛の出荷拡大というからには、せめて道の駅に出荷・出店する程度の企画はして頂きたい。

質疑：企業誘致助成事業1億8,600万円は、(株)春日野運送への助成と思うが、新規雇用11名の中の美浜町在住者は何名か。

回答：11名全員が美浜町の方である。

**議案第67号 令和4年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算
(第1号)**

住民環境課長より説明を受けた後、質疑に入りました。
質疑はありませんでした。

**議案第68号 令和4年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計補正予算
(第1号)**

住民環境課長より説明を受けた後、質疑に入りました。
質疑はありませんでした。

議案第69号 令和4年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

健康福祉課長より説明を受けた後、質疑に入りました。
質疑はありませんでした。

議案第70号 令和4年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

上下水道課長より説明を受けた後、質疑に入りました。
質疑はありませんでした。

議案第71号 令和4年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

上下水道課長より説明を受けた後、質疑に入りました。
質疑はありませんでした。

議案第72号 令和4年度美浜町住宅団地事業特別会計補正予算(第1号)

まちづくり推進課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑：スマートタウン整備に向けた可能性調査業務委託料1,265万円であるが、特別区のようなものを考えているのか。

回答：スマートタウンを整備するためにはまず適地を選定する必要があるが、例えば太陽光の有効利用を図るためには日照の問題もあるし、タウンの規模等によっても出来る事業内容が変わってくるものと考えられる。そのような可能性を総合的に調査し、適地等の検討を行うものである。

以上の審査を終え、委員会採決を行いました結果を報告いたします。

議案第54号 令和3年度美浜町一般会計歳入歳出決算の認定については賛成多数をもって認定することに決しました。

議案第55号 令和3年度美浜町診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定については全員賛成をもって認定することに決しました。

議案第56号 令和3年度美浜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定については全員賛成をもって認定することに決しました。

議案第57号 令和3年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定については全員賛成をもって認定することに決しました。

議案第58号 令和3年度美浜町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定については全員賛成をもって認定することに決しました。

議案第59号 令和3年度美浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定については全員賛成をもって認定することに決しました。

議案第60号 令和3年度美浜町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定については全員賛成をもって認定することに決しました。

議案第61号 令和3年度美浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定については全員賛成をもって認定することに決しました。

議案第62号 令和3年度美浜町産業団地事業特別会計歳入歳出決算の認定については全員賛成をもって認定することに決しました。

議案第63号 令和3年度美浜町住宅団地事業特別会計歳入歳出決算の認定については全員賛成をもって認定することに決しました。

議案第64号 令和3年度美浜町道路用地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について

は全員賛成をもって認定することに決しました。

議案第65号 令和3年度美浜町上水道事業会計決算の認定について

は全員賛成をもって認定することに決しました。

議案第66号 令和4年度美浜町一般会計補正予算（第3号）

は賛成多数をもって承認することに決しました。

議案第67号 令和4年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第68号 令和4年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第69号 令和4年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第70号 令和4年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第71号 令和4年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第72号 令和4年度美浜町住宅団地事業特別会計補正予算（第1号）

は全員賛成をもって承認することに決しました。

以上のおり審査を終了し、午後4時54分に本委員会を閉会しました。
これをもって、予算決算常任委員会の委員長報告を終わります。